

## ■ちーびし

### ○執筆者紹介

- ①生年・出身地、②所属、③専門領域、④研究業績、  
⑤奄美と関係した活動  
の順番で掲載しております。

## ■西 隆一郎 (にし りゅういちろう)

- ①1961年・鹿児島  
②鹿児島大学工学部海洋土木工学科環境システム工  
学講座助教授  
③海岸工学 (海岸環境保全)  
④1) 西 隆一郎・萩尾和央・山口 博・岩根信也・  
杉尾 毅：水難事故予防のための離岸流調査に関す  
る基礎的研究、海岸工学講演会論文集 第50巻、  
pp.156-160, 2003  
2) 宇多高明・西 隆一郎：侵食ホットスポット地  
形を伴う海浜変形についてー志布志湾押切海岸の  
局地的な海浜侵食例ー、海岸工学講演会論文集第  
49巻 pp.581-585, 2002  
3) 菊池昭男・宇多高明・西 隆一郎・芹沢真澄・  
三波俊郎・古池 綱：リーフ海岸における海面上昇  
起源の急激な海浜変形、海岸工学講演会論文集第  
49巻、pp.596-600, 2002  
4) 大冨 将範・大牟田 一美・西 隆一郎：ウミガメ  
保護に関する海岸工学的考察、第48回海岸工学論  
文集, pp.1201-1205, 2001  
⑤赤木名港エコ・コースト検討委員、1998年

## ■新田 栄治 (にした えいじ)

- ①1948年・広島県  
②鹿児島大学法文学部人文学科地域環境講座教授  
③東南アジア考古学

- ④共著『東南アジアの考古学』(同成社、1998年)  
共著『岩波講座・東南アジア史』第1巻(岩波書店、  
2001年)  
共著『古代王権の誕生』第2巻(角川書店、2003  
年)

## ■平井 一臣 (ひらい かずおみ)

- ①1958年・宮崎県  
②鹿児島大学法文学部経済情報学科地域計画講座教  
授  
③政治史、地域政治論  
④『「地域ファシズム」の歴史像』法律文化社、2000  
年  
『地域から問う国家・社会・世界』(共編著)ナカ  
ニシヤ出版、2002年  
『実践の政治学』(共編著)法律文化社、2003年  
⑤本プロジェクト事務局長



## ○奄美ニューズレター執筆要領

奄美ニューズレターの執筆者は、以下の要領を遵守してください。

## 1. 原稿の分量

- (ア)調査研究レビュー 6 ページ
  - (イ)しまゆむた 2 ページまたは4 ページ
  - (ウ)島嶼スケッチ 2 ページまたは4 ページ
  - (エ)鹿大資料紹介 2 ページまたは4 ページ
- ・1 ページは、20文字×40行×2 段=1600字となっております。

## 2. 原稿の書式

- (ア)基本的には、サンプルをもとにしてWordで執筆願います。
- (イ)写真・表なども、Wordにくみこまれるようにお願いします。
- (ウ)タイトルは、1 段組で3 行程度におさまるようにしてください。
- (エ)タイトルおよび氏名については英文のものを原稿の最後につけておいてください。裏表紙に記載されます。

## 3. 執筆者プロフィールについて

(ア)執筆者は、プロフィールを巻末に載せますので、以下の項目について編集責任者萩野へメールにて送付願います。hg@leh.kagoshima-u.ac.jp

- ① 氏名 (よみ)
- ② 生年・出身
- ③ 現職
- ④ 専門領域
- ⑤ 主な業績3 本まで
- ⑥ その他 (島嶼研究に関わることなら)

(イ)例)

- ① 萩野 誠 (はぎの まこと)
- ② 1959年・福岡県
- ③ 鹿児島大学法文学部経済情報学科経営情報講座教授
- ④ 経営情報論, ベンチャー企業論
- ⑤ 『情報技術と差別化経済』 九大出版会, 2003年  
『鹿児島の経営者にみる成功の方程式』 南日本出版, 2003年。  
「都市と農山漁村との交流圏の形成について」 Discussion Pappaers in Economics and Socioloty, No.301,2003年
- ⑥ 鹿児島大学人文社会科学研究所名瀬市サテライト 教室実施委員会委員長

4. 原稿の提出について

(ア)ニューズレターは、毎月20日発行となります。

(イ)原稿については、各月号の前月末までを提出期限としております。

・例えば、2月号に執筆の場合1月末までの執筆となります。

(ウ)校正は、1回だけとさせていただきます。校正の最終期限は15日となります。

5. その他

(ア)執筆者には、ご希望ならばニューズレターを10部送付いたします。

(イ)抜き刷りは、発行いたしません。



## ○編集後記

- 第4号は、大島本島から離れて、徳之島の記事を取りあげさせていただきました。

天城町町長吉岡氏より、1月に開いたシンポジウムの感想を寄稿していただきました。ありがとうございます。今後も自治体長の寄稿を企画していこうということに代表者の間で話がまとまりました。すでに、いくつかの町村に原稿を依頼しております。新しい企画に注目ください。

写真は、徳之島町商工会および天城町から提供されたものを利用しております。ご協力ありがとうございました。大島本島とは若干ですが、異なる空気が香れば幸いです。

- 研究調査レビューは、自然環境とポテンシャルA、歴史の変容と開発、社会意識の変容と開発、という3つの領域からなりたっております。理系の原稿が加わりますと、鹿児島大学という総合大学の特徴が生かされます。今後、ますます原稿が増えると思いますので、ご期待ください。
- なお、奄美在住の方より原稿執筆の問い合わせが舞い込んでおります。執筆要領を掲載しましたので、ご参考になさってください。ただし、掲載の可否については編集会議で判断いたします。

研究責任者 山田 誠  
奄美ニューズレター  
発行 鹿児島大学

編集責任者 萩野 誠  
AMAMI News Letter  
印刷 南日本共同印刷株式会社